

『颯とあま』は、富士・東部地域教育の様々な活動、情報等を掲載し、

地域教育の「横の連携」と「縦の接続」

を目指す富士・東部教育事務所が発行する情報紙です。1年に6回程度の発行を予定しています。

富士・東部教育事務所地域教育支援スタッフでは、

- (1) 家庭、学校、地域の連携による地域ぐるみの教育活動の活性化を図る。
 - (2) 地域における体験活動・ボランティア活動の環境を整備し、地域教育力の活性化を図る。
- を目標に掲げ、地域の教育力を高めるためのコーディネーターとして、家庭・学校・地域社会がお互いに連携を深め、青少年の健全育成のため活動しております。

【 カラー版は、富士・東部教育事務所の HP からご覧いただけます。】

URL : <http://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-ft/index.html> 】

地域の皆様のご支援ご協力を得ながら、実りある実践となるよう努めて参ります。各事業についてご意見ご要望がありましたら、地域教育支援スタッフまでご連絡ください。

連絡先 富士・東部教育事務所 地域教育支援スタッフ 0554-45-7841

平成28年3月

長い歴史に幕を閉じる

平成20年4月より進められてきました「大月市立小中学校適正配置実施計画」に伴い、平成28年3月末をもって、大月市立大月西小学校、強瀬小学校、富浜中学校の3校がそれぞれの長い歴史に幕を閉じます。今回閉校にあたり、ご多用にもかかわらず各校に特別寄稿をお寄せいただきました。ご協力いただき、誠にありがとうございます。

地域に育まれた小学校

～「まきのこ」の育成～ 大月西小学校

大月西小学校は大月市の中西部に位置し、真向かいに富士を望む景観地にあります。本年度の全校児童は71名。優しい挨拶と綺麗に澄んだ歌声で学校の日が素敵に始まります。

代表的な行事としては、学校林の梅落としがあります。梅は、「学問怠り給へば散りしをれける」の故事から、好文木とも言われる木。学校に梅林を託された昔の方の思いを大切に継承されてきた行事です。

また、地域と小学校が一緒に行う「ふれあい大運動会」では、地域、小学生がそれぞれ四つに分かれ、力試しや技の協力で汗を流します。真木体育会と小学校・児童会が一つの運動会を連携しようという一大行事です。

まだまだ、地域の懐に深く入り込んだ行事は随所にあります。季節の自然探しから田畑の栽培・収穫と販売、水路探索、古道の遠足、機織り体験。更にこれらの学びの学習発表会も兼ねる「学校の誕生を祝う会」等々…。

さて、地域の方の思いと志に支えられた本校も、市内学校適正配置のため、本年度で閉校となります。開校142年。「はばたけまきのこ」の意を新しい学校へとつなげていきたいと思っております。



大月西小・真木区民ふれあい大運動会入場行進



学校梅林の梅落とし作業

絵本作家・大月市立図書館長 仁科幸子先生をお迎えし、 「閉校記念特別授業」を実施しました！！

強瀬小学校

大月市立強瀬小学校は、「大月市小中学校適正配置実施計画」に基づき平成27年度末(平成28年3月31日)をもって閉校し、大月市立大月東小学校と統合します。

強瀬小学校は、明治6年に創立され今年で143年目を迎えました。明治25年度から残されている『卒業生名簿』によると、この



間の卒業生は今年度の卒業予定児童を含め2106名となります。また、強瀬小学区では、全国的にも珍しい学区内全ての世帯が会員である「強瀬小学校教育振興会」が昭和22年に組織され、以来、強瀬小学校を物心両面で支えてきていただきました。現在も、「強瀬小の子どもは地域全体で育てる」という考えのもと、本校の教育活動に対し、深い御理解と御協力をいただいています。ほんとうに素晴らしい組織で、昭和62年には文部大臣表彰も受賞しています。今年度も、学校行事はもとより、「おはなしたまて箱」(児童への読みきかせの取組)をはじめ様々なボランティア活動も活発に行っていました。

今年度の全校児童数は39名。一人一人の子どもたちが、ほんとうに明るく元気に、生き生きと学校生活を過ごしてきました。学習はもとより児童会活動等、全ての活動に一生懸命に頑張る姿は、ほんとうに素晴らしいものでした。

3月の閉校を控え、1月22日には、学区内・強瀬地区にお住まいの仁科幸子先生に、全校児童を対象として「思い出の作品づくり」の指導をしていただきました。児童の作品は、3月26日に開催予定の「閉校記念式典・思い出に集う会」の会場に飾る予定です。

富浜中学校よ 永遠なれ！ 富浜中学校

「富浜中学校」と言われたら・・・昨年度、甲府から富浜中に赴任する際に私がまず思い浮かんだのが、富浜中出身の「三遊亭小遊三師匠」です。そして、私自身陸上部はじめ運動部の顧問を長年させていただいた関係で、富浜中は陸上はじめ全国で活躍する選手(生徒)を多く輩出している学校であるということです。

「富浜町」の名前の由来は、鳥沢・宮谷・袴着の三村が合併した際に、地名の平仮名の頭文字を取り、最後に「ま」を付けたものと言われます。

また、「梁川町」の名前は、桂川にアユを捕る仕掛けの「梁」をかける場所があったことに由来するそうです。

校歌の中に『親愛あふるる扇山』『真心ひそめて桂川』といった歌詞があるように、豊かな自然に囲まれた富浜中学校。昭和22年に開校した富浜中は、さみしいですが、今年度末を持って閉校となり、猿橋中学校と統合します。

『夢よすがしきわが母校』富浜中学校よ、永遠なれ！！



地域の青少年支援を目指すネットワークづくり !!

南都留教育相談ネットワーク会議

南都留地域推進連絡協議会(会長：渡邊綱男船津小学校長)では、平成28年2月3日(水)に「第3回南都留教育相談ネットワーク会議」を、南都留合同庁舎大会議室において開催しました。今回は、都留文科大学地域交流センター地域教育相談室から同大学COC推進機構特任教授品田笑子先生と、大月市教育委員会教育支援室相談員奈良一功先生、同教育相談員小泉克行先生、同特別支援教育相談員花田幸恵先生の実践発表をもとに、研究協議が行われました。



品田先生の実践発表では、都留文科大学地域教育相談室における活動概要の説明について、楽しい学校生活を送るために学級集団の状態や、子ども一人一人の意欲・満足感などを測定できるアンケート「Q-U」を活用した学級経営のサポートについて実践事例を用いて説明されました。「Q-Uデータ」により原因を予測して、「学級全体のルール」や「学習ルール」の定着、「定期的な認め合いの場面設定」などの具体的な対応策を提案し、問題を解決していく方法を紹介していただきました。

また、奈良先生らは大月市教育支援室の活動・業務の説明および、年長児の就学相談と指導、小学生・中学生の教育相談について説明されました。今年度の特徴として、1件あたりの相談延べ回数や1回の相談時間が長くなったとのこと。また、相談期間が数年にわたるケースもあり、学校・担任が保護者とのコミュニケーションを密にし、保護者のおかれている状況を理解することの重要性を伝え、支援していかなければいけないと話されていました。

まなびの活用をめざした !!

山梨ことぶき勸学院 学習活動全体発表会



山梨ことぶき勸学院では、1月29日(金)に学習活動全体発表会を開催しました。当日は、都留拠点の南都留教室・北都留教室を含む県内6つの教室に通う勸学院生が県立文学館に集い、各教室の代表者によって今年度の学習の成果や活動状況が発表されました。

南都留教室では、代表5名により「富士山道に学ぶ」と題して、大月市岩殿山から北口本宮富士浅間神社までの富士山道を辿りながら郷土の歴史を探究した研究成果を発表。また、北都留教室では、代表4名により「上野

原の自然」と題して、上野原小学校の大ケヤキや軍刀利(ぐんだり)神社のカツラなどの市内の巨木や、市民に親しまれている八重山の歴史・由来・植物等について発表しました。

山梨ことぶき勸学院では3月17日(木)の卒業式をもって、今年度の活動を終了します。現在、来年度の受講者を募集しています。詳しい内容・問い合わせは、富士・東部教育事務所までお願いします。



年長児が小学校の授業を体験 !!

鳴沢保育所・鳴沢小学校の交流活動

年長さんを迎える会

3月1日(火)、鳴沢小学校(中野金男校長)では、来入児を招待して「年長さんを迎える会」を実施しました。これは、1年生の生活科の単元「もうすぐみんな2年生」の中で行われた交流活動で、1年生にとっては小学校に入学してから今までのふりかえり自分の成長について進んで考えるとともに、2年生に進級する喜びや希望をもち、新1年生を迎える準備をすることをねらいとしています。また、来入児にとっては授業体験をしたり、小学校の様子を知ったりすることで、入学してすぐに学校生活がスムーズにスタートできることめざしています。

当日は、鳴沢保育所(天野明子所長)等の来入児21名が参加。30名の1年生が鍵盤ハーモニカの演奏で来入児を歓迎した後は、グループに分かれて職員室や図書室等の学校施設を来入児の手を取りながら案内しました。また、来入児はイスの正しい座り方や、鉛筆の正しい持ち方などの授業を体験。初めての経験に少々戸惑いもありましたが、横についた1年生にあれこれ尋ねながら、楽しく授業を受けることができたようです。会に参加した来入児は、「早く小学校に通って、勉強したい」と胸を躍らせていました。



谷村工最終章 !! そして次の時代へ・・・

谷村工業高校・都留興譲館高校 教育実践公開発表会

谷村工業高等学校(菊池敏彦校長)と都留興譲館高等学校(上小澤仁志校長)では、1月30日(土)に「平成27年度教育実践公開発表会」を、昨年に引き続き両校合同で開催しました。

当日は、都留市都の杜うぐいすホールにおいて、都留興譲館高校の1・2年生と英語理数科が教育実践発表を、そして谷村工業高校4科の3年生が、専門課程で学んできた内容をもとに、課題研究として1年間取り組んできた研究成果を発表しました。各科の発表内容は次のとおりです。

化学的酸素要求量(COD) 浜中川のみ測定
生活排水(特に有機物)の影響を受けると大きくなる。

アンモニウム態窒素(NH₄⁺)
生活・工場排水、肥料などの影響を受けると大きくなる。

硝酸態窒素(NO₃⁻)
生活排水や農業用肥料などの影響を受けると大きくなる。

りん酸態りん(PO₄³⁻)
生活・産業排水・肥料の影響を受けると大きくなる。

全硬度(TH) 浜中川のみ測定
水1000ml中に溶けているカルシウムとマグネシウムの量を表した数値。水の硬度に影響。

環境工学科 「地元河川の水質調査」

都留興譲館高校

- 1年 「インターンシップ(企業実習)実践発表」
- 2年 「第2学年 修学旅行 In Okinawa」
- 英語理数科 「平成27年度の活動について」



制御工学科 「3Dプリンタを使用した製作」

- 谷村工業高校 3年
- 電子工学科 「シーケンス制御を使ったエレベーター製作」
「1次関数のグラフから超伝導現象を理論的に再現してみよう」
- 制御工学科 「3Dプリンタを使用した製作」
- 環境工学科 「地元河川の水質調査」
- 機械工学科 「ソーラーラジコンカーの製作」

山梨から世界へ、そして未来へ !! 都留高校 SSH 研究発表会

都留高等学校(志村憲一校長)では、2月12日(金)に「平成27年度都留高校SSH研究発表会」を開催しました。

当日は、「公開研究授業」では若手外国人研究者による科学英語 JSPS フェロー講演会を通して、科学分野の英語力とコミュニケーション能力の伸長を図る授業を公開。また、「ポスターセッション」「オーラルセッション」では先輩から引き継いだ継続的な研究や、学校や地域の特色を活かした研究成果などを発表。「SSH研究報告会」ではSSH研究開発経過措置校としての1年間の取り組みとその成果・課題について、SSH担当者から報告がありました。

「オーラルセッション」の発表内容は次のとおりです。



オーラルセッションの様子

- 「色素増感太陽電池の研究」
- 「ナメクジの体が一番美しいのは朝 ~体表細胞との関係~」
- 「岩殿山を構成する岩殿山礫岩層の礫の方向から古流向を探る」
- 「The Relationship Between Sprouting and Sound」
- 「Proteolytic enzyme」



ポスターセッションの様子

明日を拓き、未来を創る !! 富士北稜高校 生徒発表会

富士北稜高等学校(宮下仁校長)では、2月13日(土)に「第9回生徒発表会」を開催しました。今年度からは3年次生に加え、1・2年次生も発表に参加しました。

午前の部では、1年次生は「職業調べ」「ライフプラン」、2年次生は「就業体験」「オープンスクール参加」について、それぞれの年次代表が発表。午後の部では、「英語スピーチコンテスト出場者」の発表のほか、7つの系列の代表が今年1年間の学習や活動の成果を発表しました。それぞれの系列の特性を生かした専門性の高い内容でした。各系列の発表内容は次のとおりです。



福祉系列 車いす操作の実演



機械テクノロジー系列 「チャレンジ2015」

- | | |
|-------------|---|
| 建築デザイン系列 | 「街をリノベーションする」 |
| 情報系列・ビジネス系列 | 「情報系列・ビジネス系列で学んできたこと」
パソコンを活用した作品製作の発表
財務諸表分析とアヒ〜ル君 |
| 電気情報系列 | 「災害時に役立つスマートフォン充電器の製作」 |
| 福祉健康系列 | 「福祉系列で学んだこと~私たちにできること」 |
| 機械テクノロジー系列 | 「チャレンジ2015」
~地域の「ものづくり」産業を支えるエンジニアを目指して~ |
| 教養系列 | 「婚姻の今昔史 ~メリットとデメリットの一考察~」 |

来年度の地推協主要事業の予定

北都留地域教育推進連絡協議会（地域教育「明日の風」）および南都留地域教育推進連絡協議会の平成28年度主要行事予定は次のとおりです。詳細については、改めてお知らせします。

- 北都留地域教育推進連絡協議会（地域教育「明日の風」）総会・教育講演会
 平成28年7月7日(木) 受付開始：午後1時30分 会場：大月市民会館 3階講堂
 南都留地域教育推進連絡協議会総会・講演会
 平成28年6月22日(水) 開始：午後2時 会場：富士ふれあいセンター
 南都留地域教育フォーラム
 平成28年11月4日(金) 開始：午後1時30分 会場：下吉田第二小学校

平成28年度 各事業の参加者募集のお知らせ

「子育て支援リーダー実力アップ講座」

山梨県教育委員会では、地域の人間関係の希薄化や貧困など、困難を抱える家庭や子育て中の親の不安を解消し、地域での子育てや家庭教育の支援活動を積極的に推進できる人材を確保するために、家庭教育・子育てにおける喫緊の課題について講義と実技演習を主体とした講座を開催し、子育て支援リーダーの養成及び資質向上を図ります。

定員 40名 会場 山梨県立大学飯田キャンパス 受講料は無料
 研修日数は6月～10月までの9日間、県内外の大学教授等による講義と演習
申込み受付は、4月中旬を予定しています。

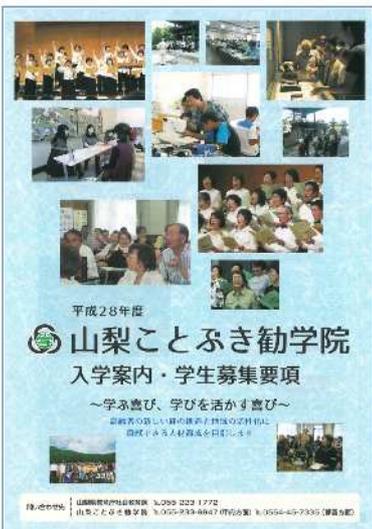
「ワクワク子育て親育ちプログラム学習講座」

山梨県教育委員会では、子育ての不安や悩みを解消し、自信をもって我が子に向き合い、子育ての楽しさを実感できる親を増やすために、現在子育て中の親及びその支援者を対象に「ワクワク子育て親育ちプログラム」を使った学習講座を開催します。親が子育ての楽しさを実感するとともに、楽しさを広める活動を推進する人材を養成します。

定員 30名程度 会場 山梨県立大学飯田キャンパス
 テキスト・受講料 「ワクワク子育て親育ちプログラム」・無料
 講座回数は半日講座が全6回(10～12月) 申込み受付は、8月8日(月)からです。

上記2つの講座についての問合せ先

山梨県教育庁社会教育課 成人・家庭教育担当 055-223-1772
 または 富士・東部教育事務所 地域教育支援担当 0554-45-7821



「山梨ことぶき勸学院」

山梨ことぶき勸学院では、来年度の入学生を募集しています。
 人生100年ともいわれるこれからの長寿社会では、いくつになっても学ぶ幸せを実現できる「幸齢社会」であることが必要となります。新たな高齢者のスタイルを創造するために、「生きがいの創出」「新たな縁・絆の構築」「地域の活性化に貢献できる人材の育成」「健康増進」の実現を目指し、共に学び、明日への生きがいを育てましょう。

願書の配布・受付 富士・東部教育事務所
 問合せ先

山梨県教育庁社会教育課成人・家庭教育担当 055-223-1772
 または 富士・東部教育事務所内 都留拠点 0554-45-7335